

ポールの太さの幅員計測への影響について

<よくある事例>

舗装工事において、既設構造物(縁石、側溝)等の間の幅員を計測する場合、ポールの太さによって、実際の幅員より短くなる可能性があります。TS計測1点あたり、ポールの厚み半分程度短くなり、2点分(幅員)に換算するとポールの厚み分が実際の幅員より短くなることが想定されます。

このため、出来形管理結果に示される幅員については、ポールの厚みを考慮して、規格値を満足していれば、実施工上の幅員としては問題ありません。

<問題となる場合>

- ① 切削オーバーレイで、切削後に底面の高さと幅を1度に測ろうとする場合。
- ② 舗装幅や法長を計測する際、既設構造物や先行設置構造物が邪魔をする場合。

